



【巻頭言】

A君のこと

—卒園から始まる若竹の支援—

園長 野田大燈

中学 2 年生の時に入所した A 君が中学を卒業して新たな第一歩を踏み出しました。

入所以前から家事炊事が充分でない母親に代わって料理を作っていたことから調理に興味を持ったそうです。

彼の「園長、学園に栗の木を植えてくれたら僕がマロングラッセを作って食べさせてあげるよ」の言葉から本当に栗の木を植えることとなりました。

その原因の一つは、紅葉の頃に山歩き好きの園生数名が拾ったと言う立派な栗の実を嬉々として持ち帰り、喜んだ他の園生も沢山の实を持ち帰ったことにあります。

野生の小さな栗なら理解できるが、大粒の实を着ける栗の木が山の中にあると言う事に疑問を感じて園生に案内してもらおうと、荒れて放置されてはいるものの明らかに人の手で植えられている栗の木でした。

「でも園長、ここは山の中でしょう。」と不満顔の園生に「山の中でも他人の持ち物を盗ればそれは窃盗罪にあたるよ。他人の栗を取るより皆で学園に栗を植えよう」と言う事が A 君のマロングラッセ作りが重なって超大粒の丹波栗苗 3 本を皆で定植しました。

残念ながら普通高校の入試に失敗して定時

制高校の道を選んだ彼は自立援助ホームに居を移して通学することとなりました。

自立援助ホーム入居の原則は「就労」ですので職員が手分けして職探しに奔走しました。

大卒・高卒でも就職の難しい社会状況の中で 15 歳の彼の就労先は難しいものがありました。

また彼の「夢」である調理に関わる仕事先となると更に狭いものでした。

そして決定したのは、学園の調理委託をお願いしている B 社さんが関わっている老人施設での調理場でした。

A 君は今、午後 5 時 30 分授業開始の定時制高校に通いながら老人施設の調理場で下働きをしています。

先日 A 君に近況を訊ねると「施設のおばあさんが僕にお菓子をくれたよ。まだ職場の事は十分わからないけど、上司の人達が優しくしてくれるので楽しいよ」との事でした。

若竹学園は情緒障害児短期治療施設と言う心理治療を行う児童施設です。

心理療法や投薬と言う医療傾向の対応と共に、キーワードは「自立」にあります。

個々に異なる様々な症状の治療と相まって、自立のための生活指導は不可欠なものです。

A 君が 2 年後の調理師免許の資格取得と更に 4 年後の高校卒業、そしてその後の就労までも学園の職員たちの支援は続きます。

あの栗の木が大木となってたわわに実を着けるまで続くでしょう。 —了—

お花見

3月中旬から寒の戻りがあって桜の開花が遅れるのかと心配していましたが、気温の高い日が続き、昨年より早く開花となりました。

園生全員が楽しみにしていた花見は、残念ながら雨の為、食堂から見る事になりました。食堂から見る桜も色鮮やかでとても綺麗でした。



「雨でも歩きたい」と言う子ども達だったので、別の日に希望者を募り学園を出てのんびりと周囲を散策しました。

トカゲの採集

暖かくなり、生き物が動き始めると今年もトカゲ採集のスタートです。



山道を歩き、日当たりの良い場所で止まるとシュルルルと音がするとカナヘビが居る証拠です。カナヘビは止まっ

ては動き、止まっては動くことを繰り返します。子ども達は、網を使って捕るのではなく素手で捕まえます。動きが素早いので見失うこともあります。何度も何度も挑んで 1 日に 18 匹も捕まえることが出来ました。



学園に戻り、飼育ケースに葉っぱ、土、石を入れると寝床の完成です。朝になると、餌となる虫を探し毎日、忘れずに餌をあげて大切に育てています。

よもぎ餅作り

4月6日に学園園庭に自生しているよもぎを使ってよもぎ餅を作りました。まずはたくさんの草の中からよもぎを選びながら取りました。普段遊んでいる園庭にこんなにたくさんのよもぎがあったのかと驚いていました。そして取ってきたよもぎを洗って茹でてすりつぶす作業をしました。よもぎの香りが漂う部屋の中で「なんかコツをつかんだ!」と一生懸命よもぎをすり潰していました。



おいしい

すり潰したよもぎをもち米と一緒につきおやつに食べました。「よもぎって意外とおいしいな。」と話す子もいて身近な素材への親しみが湧いたようです。

若竹学級たより

さらに力強い一歩を

緑の色が木々に少しずつ映えて、心地よい風が吹き抜けています。

進級して、早くもひと月がたちました。さわやかに、さらに力強く一歩を踏み出すことができるよう、一人ひとりを見守っていきたいと思います。

新任教職員の紹介

本年度の人事異動で 1 名の教職員が転入して参りました。前任者同様、分教室の教育活動にご協力ご支援をよろしくお願いいたします。

氏名	前任校
いちほら たかひろ 市原 孝洋	高松市立国分寺中学校

ごあいさつ

中学校

うえまつ 植松 中 3 担任



人間は、人間とのかかわりの中で磨かれていきます。本年度も、成長する子ども達の姿、素敵な光景をたくさん見つけ、互いに認め合い、ともに伸びていきたいと思いません。

たなか 田中 中 2 担任



4 月から 2 年生を担当します田中です。一人一人に寄り添い、勉強や運動に子ども達と一緒に取り組んでいきたいと思いません。よろしくお願います。

いちほら 市原 中 3 担任



本年度から青峰学級でお世話になることになりました。恵まれた自然の中で皆さんと過ごせることに喜びを感じています。よろしくお願いします。

おおえ 大恵 支援担当



青峰学級にお世話になって丸 2 年が過ぎ、3 年目になります。四季折々の自然に触れながら、みんなと一緒に学んで成長していきたいと思いません。

小学校

かわさき 川崎 小 6 担任



体力と持久力には自信があります。常に目標に向かって走り続けたいです。そして、いくつになってもフレッシュな気持ちで青春していきたいです。

くらい 鞍井 小 5 担任



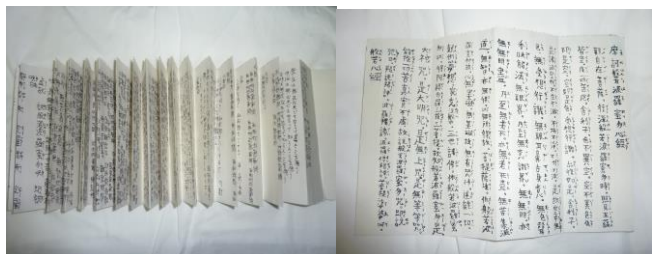
今年もお世話になります。教員生活の最後の一年、1 日 1 日を大切にして、悔いを残さないようがんばりたいと思いません。よろしくお願いします。

* 似顔絵は担任している子どもたちの作品です。

若竹芸術展

~御寄附ありがとうございました~

A 君の写経



女子の作品



※子ども達の作品の一部です。

子ども達が様々な視点で作る作品は、大人では気づかない工夫があります。一つ一つが子ども達の努力の証です。改めて、子どもの力は凄いと思います。頑張ったことが形として残ることも大きな意味があると思います。

これからも子ども達の力作を期待して若竹芸術展を続けていけたらと思います。

馬場 浩一 様 お菓子
滝川 敬教 様 お菓子

4月行事

- 4 日 花見
- 6 日 よもぎ餅作り
- 12 日 図書館
- 17 日 買物学習
- 26 日 太鼓練習
- 27 日 図書館
- 29 日 イチゴジャム作り



外来子ども相談

子育てに関する悩み・不安などを専門スタッフがご相談をお受けします。ご家族や学校関係のみのご相談も受け付けております。相談は無料です。予約制になっておりますので、まずはお電話にてご連絡にてご連絡ください。

月曜日～金曜日 午前 9 時～午後 5 時

電話：087-882-1000

秘密は厳守します。



編集後記

雪が降る日が多く、たくさん子ども達と外での活動を楽しみました。今後も子ども達の様々な活動の様子をお伝えしていきます。

児童指導員 太田 美千代

第 243 号発行

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192

T E L 087-882-1000 F A X 087-882-1160

ホームページ <http://netwave.or.jp/~wakatake/>

E メール wakatake@mail.netwave.or.jp

編集兼発行者 若竹学園 編集委員

発行責任者 野田 大燈